

広告運用に役立つ！Excel関数リスト

関数	できること	使用例	広告運用での活用例
AVERAGE	数値の平均を求める	AVERAGE(A1:A5) →セルA1～A5の平均を計算する	クリック数やクリック単価などの指標の平均を求め、広告やキャンペーンの成果を比較する
AVERAGEIF	条件を満たすデータの平均を求める	AVERAGEIF(A1:A10,">100") →A1～A10の中で、100以上の値の平均を求める	クリックが一定数以上の広告の平均CPCを求める
COLUMNS	範囲の列数を求める	COLUMNS(A1:C3) →A1:C3の範囲の列数（3）を返す	キャンペーンにおける列数の確認やデータ整理
CONCAT / TEXTJOIN	複数のセルの内容を結合する	TEXTJOIN(" ", TRUE, A1, B1, C1) →A1～C1の内容を半角スペース区切りで結合	複数のセルをつなげて広告文を作成する
COUNTBLANK	空白セルの数をカウントする	COUNTBLANK(A1:A10) →A1～A10の範囲内で空白のセル数をカウントする	データの入力が漏れている箇所がないかチェック
COUNTIF	条件に一致するデータの件数を数える	COUNTIF(A:A, "Google") →A列の中で「Google」と一致するセルの数をカウント	特定のキーワードを含む検索クエリの件数や、「モバイル」経由のデータ件数を集計する
COUNTIFS	複数の条件に一致するデータの件数を数える	COUNTIFS(A:A, ">=300", B:B, ">30") →A列が300以上、かつB列が30より大きい行の数をカウント	費用を多く使っているがコンバージョンが少ない広告を特定する
DATE	日付を作成する	DATE(2024,3,12) →2024年3月12日の日付を作成する	広告の開始日や終了日を簡単に入力する
EXACT	2つのセルの値が完全に一致するか判定する	EXACT(A1, B1) →A1とB1が同じならTRUE、違えばFALSE	「原稿」と「入稿した内容」など、2つのセルの値が完全に一致するか判定（大文字・小文字も区別）
FILTER	条件に基づいてデータを抽出する	FILTER(A1:B100, A1:A100>1000) →A列の値が1000以上の行を抽出	高いクリック数やCVを持つデータだけを表示する
IF	条件によって異なる値を表示する	IF(A2>=100, "高", "低") →A2の値が100以上なら「高」、それ未満なら「低」を表示	クリック単価が一定以上の広告やキーワードに「要改善」とラベル付けするなど、大量のデータを評価する
IFERROR	計算エラーを回避する	IFERROR(B3/C3,0) →B3/C3がエラーの場合、0を表示する	コンバージョン単価やクリック単価、ROASなどを計算する際のエラー回避に使用する
IFNA	エラーの場合の処理を行う	IFNA(VLOOKUP(A1,B1:C10,2,FALSE),0) →VLOOKUPがエラーの場合、0を返す	エラー時に代替りの値（例: 0）を表示して計算しやすくする
ISBLANK	セルが空白か判定する	ISBLANK(A1) →A1が空白であればTRUE、空でなければFALSEを返す	特定のセルが空欄かどうか確認してエラーや入力漏れを確認
LEFT / RIGHT / MID	文字列の一部を抽出する	LEFT(A1,10) →左から10文字を取得	キャンペーン名や広告グループ名から特定の文字列を抜き出す
LEN	文字列の長さを取得する	LEN(A1) →A1の文字数を取得	広告文の文字数チェックに使用する
MAX	最大値を求める	MAX(A1:A10) →A1～A10の範囲内で最大の数値を返す	広告の中で最も高いクリック数やコンバージョンを特定
MIN	最小値を求める	MIN(A1:A10) →A1～A10の範囲内で最小の数値を返す	最低のクリック単価やCVRを特定
MOD	剰余を求める	MOD(A1,2) →A1を2で割った余りを返す	キャンペーン配信スケジュールの調整に使用
MODE	最頻値を求める	MODE(A1:A10) →A1～A10の範囲内で最も多く出現する数値を返す	広告における最も頻繁に発生した数値を把握する（クリック数、コンバージョン数）
NETWORKDAYS	営業日数を求める	NETWORKDAYS(A1,B1) →A1とB1の日付から営業日数を計算する	広告運用キャンペーンの営業日数を求める。※営業日は「土日祝を除く平日」
NORM.DIST	正規分布に基づく数値の分布を算出する	NORM.DIST(A1, 平均, 標準偏差, TRUE) →A1の値の正規分布を計算	正規分布に基づく数値の分布を算出し、A/Bテストの結果分析に活用する
PERCENTILE	データのパーセンタイル値を求める	PERCENTILE(A1:A100, 0.9) →上位10%の値を取得	CVRやクリック率などのデータから上位の値を抽出する
PROPER / UPPER / LOWER	文字列の大文字・小文字を変更する	UPPER(A1) →A1の文字列をすべて大文字にする	広告文やキーワードの整形に活用する
RANK	数値の順位を求める	RANK(A1, A1:A10, 0) →A1をA1:A10の中で降順にランキング化する	広告の成果を順位付け（クリック数・CV数のランキング）
ROUND	数値を四捨五入する	ROUND(A1, 2) →A1の数値を小数点以下2桁で四捨五入する	クリック率（CTR）、コンバージョン率（CVR）、ROASなどを見やすく調整する
ROUNDDOWN	数値を切り捨てる	ROUNDDOWN(A1,2) →A1の数値を小数点以下2桁で切り捨てる	クリック単価などを小数点以下2桁で切り捨てて表示
ROUNDUP	数値を切り上げる	ROUNDUP(A1,2) →A1の数値を小数点以下2桁で切り上げる	広告費の端数を切り上げて計算する
ROWS	範囲の行数を求める	ROWS(A1:A10) →A1:A10の範囲の行数（10）を返す	広告データが何行分あるか確認してデータの規模を把握
SEARCH / FIND	特定の文字列がどこにあるかを判定する	SEARCH("リスティング", A1) →"リスティング"がA1の何文字目にあるか	特定の文字列がどこにあるか判定し、キーワードの分類に活用する
SPARKLINE	セル内に小さなグラフを作成する	SPARKLINE(A1:A10, {"charttype","line"}) →A1:A10のデータで折れ線グラフを作成	セル内に小さなグラフを作成し、クリック数やCVの推移を確認する
SUBSTITUTE	文字列の一部を置換する	SUBSTITUTE(A1,"","-") →スペースをハイフンに置換	広告文の修正やURLの変換に使用する
SUBTOTAL	フィルター適用時の合計や平均を求める	SUBTOTAL(9, A2:A100) →A2～A100の合計を計算する（9はSUMを指定）	フィルター適用時に表示データのみの合計や平均を求める
SUM	数値の合計を求める	SUM(B3:B9) →セルB3～B9にある数値の合計を計算する	表示回数、クリック数、費用などの合計を求める際に使用する
SUMIF	条件に一致する数値の合計を求める	SUMIF(A:A, "=広告①", B:B) →A列が「広告①」の行のB列の値を合計する	特定のキャンペーンや広告の数値を抜き出して合計する
TEXT	数値や日付を特定のフォーマットに変換する	TEXT(A1,"yyyy-mm-dd") →日付を「2024-03-12」のような形式にする	日付や数値を特定のフォーマットに変換し、レポートを整える
TEXTJOIN	複数のセルの内容を結合する	TEXTJOIN("","TRUE,A1:A5) →A1～A5のセル内容をカンマ区切りで結合する	キーワードリストや広告文の統合
TRANSPOSE	範囲の行列を入れ替える	TRANSPOSE(A1:A3) →A1～A3の縦データを横データに変換する	横並びの広告グループデータを縦に並べてレポート作成
TRIM	余分なスペースを削除する	TRIM(A1) →A1の前後の空白を削除	余分なスペースを削除し、データを整理する
UNIQUE	データの重複を排除する	UNIQUE(A1:A100) →A1:A100の中から重複を除いたリストを作成	重複する検索クエリや広告グループ名を整理する
VLOOKUP	表の中から指定した値を検索する	VLOOKUP("商品B", A2:C4, 2, FALSE) →商品Bの価格を検索する	広告グループ名に対応した数値を取得し、レポート作成時の自動更新に活用する
WEEKDAY	日付の曜日を求める	WEEKDAY(A1) →A1の日付に対応する曜日を数字で返す（1=日曜日）	広告の配信曜日別の効果を分析する
XLOOKUP	柔軟な検索を行う	XLOOKUP("商品B", A2:A10, B2:B10) →A列の「商品B」に対応するB列の値を取得	VLOOKUPの強化版として、広告の成果データをより効率的に参照する
YEAR	年を求める	YEAR(A1) →A1の日付から年を抽出する	広告運用の年度別データを分析する